

清流



平成30年11月 9日 文責 石丸 慎也

ふたつの研究授業 ～ 「外国語活動」と「音楽」

今月2日、ふたコマの研究授業が行われました。



一つは4年生の外国語活動です。「天気の違いの表現に慣れ親しむ」ことを目標に、「How's the weather?」「It's ().」というふうに、()の中に sunny , rainy , cloudy , thunder , snowy , hot , cold などの天気を入れて全体で練習したりペアになってインタビューをしたりするという学習に取り組みました。中学年の外国語活動では、ゲームやクイズをとおして英語にふれる機会をつくり、慣れ親しむ感覚を磨いていくことを目指しています。この日、子ども達はみんな抵抗なく天気に関する英語を使い、集中して学びに向かう姿が見られました。



もう一つは6年生の音楽です。「歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して、思いや意図をもって響きのある声で歌う」ことを目標に授業が行われました。「花になれ」という歌の歌詞の好きなフレーズを選び、その理由を考えました。そして自分が好きな歌詞をどんなふうに歌いたいかを考え、グループで話し合い、その後表現の工夫について気づいたことや考えたことをふまえて歌を歌いました。作者の思いに自分たちの思いを重ねて伝えるという深い学びができていたと思います。それにしても子ども達の澄んだ歌声というのは心に響きます。

ものづくりのよさを知る ～ 佐賀工業高校建築科生来校指導



今週、6年生を対象とした佐賀工業高校建築科生による「ものづくり体験教室」が行われました。これは佐賀県が実施している「ものづくり人材創造事業」の一環として、高校3年生が小学生に対して授業をとおしてもものづくりへの興味や関心を促していこうというものです。題材は“ログハウスの貯金箱をつくろう”です。

子ども達は、①家の本体を作る、②丸棒をつける、③水車を作る、④テラスを作る、⑤階段を作る、⑥玄関を作るというように、示された手順にそって作っていきました。高校生がいつでもアドバイスをや手助けができるようにそばにいてくれたことで、子ども達も集中して作業に向かうことができたようです。

子ども達の感想をいくつか紹介します。

- 家に持って帰ると「すごい」と言われました。
- この体験を通して、ものづくりの仕事もいいなと思いました。
- うまく作れたし、手が少し器用になった気がしました。
- また違うものをつくってみたいです。
- 「上手」と言われてとっても嬉しかったです。
- ものづくりが好きになりました。
- 細かな作業が終わると、とても気持ちよくて楽しかったです。
- こんなのをふつうにしているなんてとてもすごいと思います。感動します。
- また自分でつくってみたいと思いました。



校長室から

休み時間、子ども達が一輪車に乗ってスイスイと進んでいる。よくもまああんなに上手に乗れるものだを見ていてただただ感心してしまう。一輪車乗りが上手な子は、頭の位置が動かない。頭からタイヤが地面に接しているところまで1本の線が通っているようだ。乗れたら楽しいだろうなとは思いますが、いまさら練習しようとは思わない。